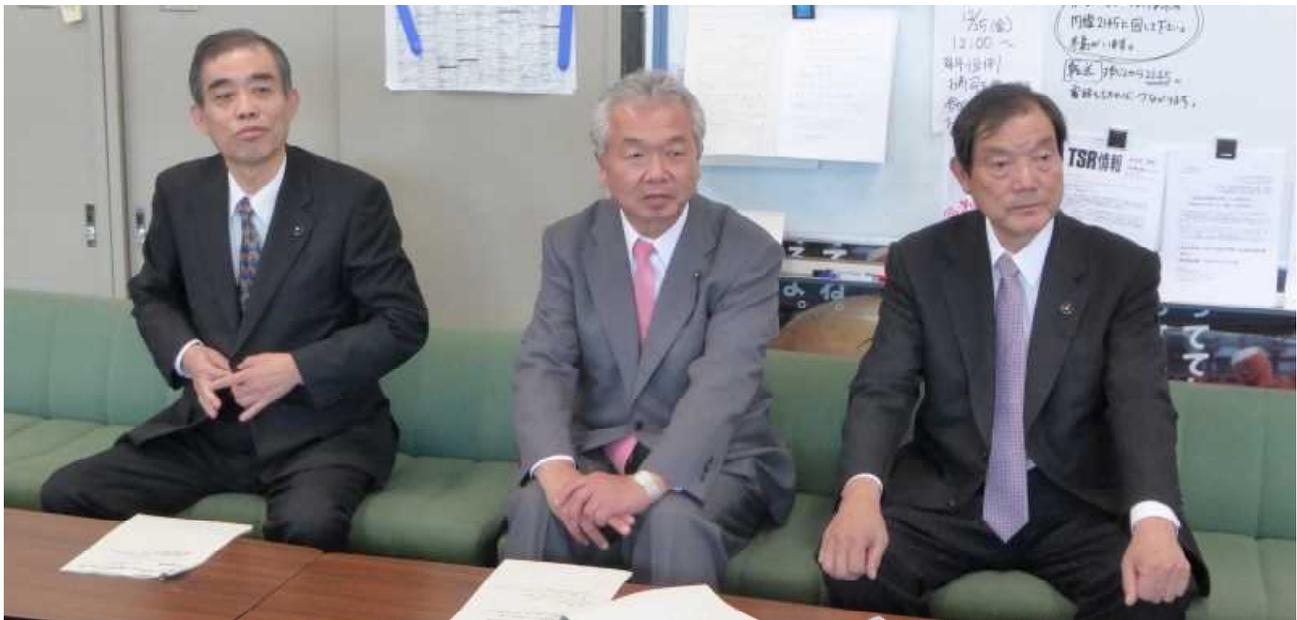


◆ 議長記者会見概要

日 時：平成27年12月14日（月）14：47～15：05

場 所：県政記者クラブ（県庁内）

出席者：中村 昭議長、山本 進章副議長、荻田義雄広報委員会座長



中村 昭議長

山本 進章副議長

荻田義雄広報委員会座長

〈案 件〉

（1）関西広域連合議会議員の選出について

12月4日に、奈良県の加入に伴う関西広域連合規約の変更について総務大臣の許可がありましたので、本日の会議で、議長の指名推選で創生奈良の阪口保議員、なら維新の会の川田裕議員、民主党の田尻匠議員の3名を関西広域連合議会議員に選出しました。

（2）開催実績の乏しい附属機関について

201機関（平成27年9月末時点）あった県の附属機関で過去1年以上開催実績が無い40機関のうち、奈良県地震防災対策アクションプログラム推進委員会、奈良県求償審査会、奈良県中小企業調停審議会、奈良の省エネ・節電スタイルの推進に関する補助金選定委員会、奈良県宅地造成審議会、奈良県教職員結核対策専門委員会、奈良県公務災害補償等認定委員会の7機関を廃止する「奈良県附属機関に関する条例の一部を改正する条例」外1件の条例が本日の会議で可決されました。これからも、時代の趨勢を考え議会としてチェックをして参ります。

（3）虚礼廃止に関する申し合わせについて

虚礼廃止は県議会の長年の懸案事項であり、また、昨今、国会議員の香典の問題がテレビや新聞紙上を賑わせているところですが、今般、議員の総意で、選挙区内における香典については、理由のいかんを問わず一切行わないことを申し合わせました。来年1月1日から実施します。

(4) 議員会の人間ドック補助（県補助分）について

県議会の「議員会」は、議員が人間ドックを受診する費用の一部を議員に補助してまいりました。議員の健康維持は議会活動の円滑な運営につながることから、この事業には、県の補助金が交付されてきましたが、今般、県の財政負担を軽減し、県財政の健全化に取り組むため、県補助を自主的にお受けしないこととしました。

<質 疑>

○関西広域連合議会議員の選出について

記 者：関西広域連合議会議員に3人の方が選ばれたのはどのような理由からですか。

中村議長：少数会派の意見も尊重するという点も踏まえて、熱心と思われる方を選ばせていただいた。

○虚礼廃止に関する申し合わせについて

記 者：香典については、各派代表者会で決められたのですか。

山本副議長：各派連絡会で申し合わせました。それ（香典）以外の弔電や供花については公職選挙法を遵守するということです。

記 者：香典については、国会で問題になっていたことを受けてのことですか。

中村議長：そうではありません。長年の議会の懸案事項になっていました。

記 者：虚礼廃止については、拘束力なしで、特段チェックすることもなく、議員の責任においてということになるのですか。

荻田座長：「申し合わせ」です。

山本副議長：罰則も設けていません。

記 者：違反した人がいたらどのようなになるのですか。

山本副議長：（違反は）ないと思っています。

○議員会の人間ドック補助（県補助分）について

記 者：人間ドックの補助の額はどのようになっているのですか。

山本副議長：検診代の2分の1の額を3万円を上限として補助しています。今後、公費からは出しませんが、議員会からの補助は、引き続き行います。